

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 倉吉西高等学校

重点項目	キャリア教育	提出日	令和3年5月11日
------	--------	-----	-----------

1 学校目標	
校訓である「立志」の精神に基づき、自らの志（使命感）を明確に持ち、将来、地域貢献及び社会貢献のできる心豊かな人財を育成する。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>キャリア教育の充実</p> <p>○社会的問題に関心を持ち、社会の一員であることを自覚させる。</p> <p>○探究活動をとおして、社会的問題の解決に向けて必要となる能力を育成する。</p> <p>○将来の生き方を前提とした進路指導を展開する。</p> <p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>○チャレンジグループ活動アンケートの設問（6項目）での肯定的回答が9割以上。</p> <p>① 活動内容は納得いくものであった。</p> <p>② 年間日程や活動時間はおおむね良い。</p> <p>③ 活動に積極的に取り組めた。</p> <p>④ 講義や施設見学により、仕事や施設の役割等の理解を深めることができた。</p> <p>⑤ チャレンジグループ活動を体験して、さらに学びたい、知りたいなどの知的好奇心が深まった。</p> <p>⑥ チャレンジグループ活動を体験して、進路目標が決まったり、進路目標に対する情熱が高まった等の進路目標に対して影響を与えた。</p>	<p>○チャレンジグループ活動を3年間の体系的な取組とし、1年次から企業や商工会議所等を訪問し、現在の地域課題の認識を深めた。</p> <p>○1年次の3月に個人テーマを決定し、1年間かけて仮説、考察を繰り返し、問題解決に向けた方策を研究したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、フィールドワークやボランティア活動への取組は不十分であった。</p> <p>○進路指導と結びつけることで、進路選択のミスマッチを防ぐことにつながっている。</p> <p>&lt;数値結果&gt;</p> <p>○チャレンジグループアンケート肯定的回答率項目（以下は、S1、S2、S3の順）</p> <p>① （95.6%、87.5%、99.1%）</p> <p>② （97.3%、99.1%、100%）</p> <p>③ （98.2%、92.0%、96.2%）</p> <p>④ （97.3%、83.9%、93.3%）</p> <p>⑤ （93.8%、87.5%、99.1%）</p> <p>⑥ （83.2%、84.5%、96.2%）</p>

### 3 実施事業

#### 【高等学校課事業】

- ・鳥取県版キャリア教育推進事業

#### 【独自事業】

- ・学問・職業に関する講演会（S1、2） ・研究テーマの関連施設の訪問（S2）
- ・フィールドワークイン山陰（S2）・フィールドワークイン鳥取（S1）
- ・活動成果発表会・報告書（ガイドブック）作成
- ・鳥取看護大学・鳥取短期大学連携

### 4 総合所見（成果・評価）

コロナ禍の中でも感染予防を行い、日程を変更しながらできることを工夫して探究活動を行った。

「チャレンジグループ活動」「フィールドワークイン山陰」「フィールドワークイン鳥取」など、各活動におけるきめ細やかな事前準備が充実してきており、活動実施後のアンケートで多くの項目で「大変良い」

「良い」の割合が9割を超えるなど非常に高い評価であった。特にS3のアンケートにおいては「知的好奇心が深まった」（99.1%）「進路目標が決まったり、目標に対する情熱が高まったなど、影響を与えた」（96.2%）と生徒の成長につながる取り組みと高く評価できる。

「調べたこと」から「自分なりの課題解決方法の提案」となるよう、踏み込んだ研究に向かわせるための生徒への指導が必要であり、地域人材の活用も含めて、チャレンジグループ活動のあり方を考えていきたい。

※枚数任意